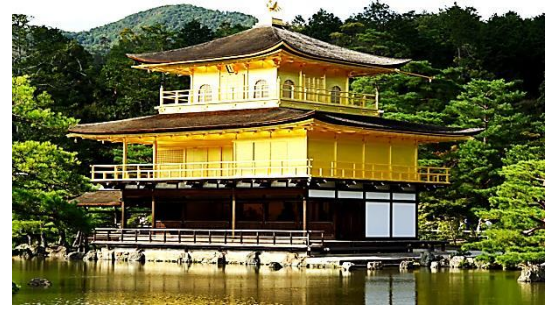


金閣寺の授業

2018・8



1 金閣寺クイズ

①金閣寺と銀閣寺は、国宝でしょうか？

ア:両方とも国宝 イ:金閣寺が国宝 ウ:銀閣寺が国宝 エ:両方違う

②金閣寺には、10cmの正方形の金箔が、何枚くらい貼られているのでしょうか？

ア:2万枚 イ:20万枚 ウ:200万枚

③金箔1枚の厚さはどのくらいでしょうか？

ア:0.0001mm イ:0.01mm ウ:0.001mm

④金箔を貼るのに使う道具は、どんな道具でしょうか？

ア:竹製箸 イ:真鍮製ピンセット ウ:馬毛の刷毛

⑤金箔を貼りつけるのに使う材料は何でしょうか？

ア:にかわ

イ:でんぷんのり

ウ:うるし



⑥今から20年前に修復工事で金箔を貼り直す作業が行われましたが、その時に、一番大変だった場所はどこでしょうか？

()

⑦金箔を貼る仕事を始めて、一番最初に、注意することは何でしょうか？

()

⑧その時の職人さんが、今もご苦労されていることは何でしょうか？

()

2 金閣寺の謎を解こう！

① 金閣寺の歴史

金閣寺は、室町時代足利将軍義満の別荘として使われた建造物でした。それが、義満死後、遺言の通り寺となったのです。

銀閣寺なども、同じです。将軍・貴族・武将たちの別荘や住まいが、京都の中でも、清水の湧き出る山のふもとに(その場所が一等地)、建てられました。

それが、のちに、菩提を弔うためや信仰のため、寺となり残されたのです。

金閣は、お寺であるために、仏像や舍利(ブツダの骨と呼ばれる物、時たまガラスの仏具だったりする)が、その中に納められています。つまり、金閣は、人々が建物の中に入って、池の風景を眺めるための建造物というよりも、東寺などの五重塔と同じ役割(=塔頭=舍利を置く場所=金閣では3階に置かれている)を、果たしているのです。

そして、室町時代からその後、昭和の戦後まで、ずっとそのたたずまいを残してきました。

ところが、戦後すぐの放火事件によって、全焼してしまったのです。

放火した犯人は、金閣寺で修業をしていた若い僧でした。これは衝撃的なニュースになり、小説にもなっています。三島由紀夫の『金閣寺』、水上勉の『五番町夕霧楼』などです。

このあと、金閣寺は、復興修理をされます。

ですから、金閣寺は国宝ではありません。銀閣寺は足利時代そのままに保存されているので、国宝です。その代わりに金閣寺も世界遺産として認められています。

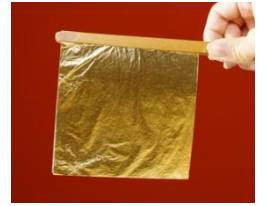
② 金閣寺の金は？

金閣寺の金は、金箔が貼ってあるものです。そして、**1枚の金箔の厚さは、0.0001mm=1万分の1ミリの厚さ**です。

10円玉ぐらいの大きさの金を何万回も叩いて畳1畳ぐらいの大きさにまで引き延ばす、そして、1万分の1ミリの厚さにまで薄く延ばして、太陽に透かすと、うっすら光が見えるくらいにするのが、日本の技術だそうです。ですから、答えは1万分の1ミリの厚さです。

最初、普通の厚さ1万分の1ミリで一度修復したのですが、紫外線による劣化が激しく、実は今の金閣寺ではその5倍の厚さの金箔が使われています。1万分の5ミリです。

その金箔を20キロほど使い、**20万枚使われました。**



③金箔の貼り方は？

金箔に使う接着剤は、漆です。漆の上に金箔を貼ります。漆は、お正月のお椀や重箱などに塗られています。黒い漆を美しく飾る物として、金箔や貝ガラを削った物(らでん)を貼って飾ります。漆は器を美しく、長持ちさせる材料ですが、その性質で一番大変なのが、かぶれてしまうことです。職人さんは、かぶれても、金を貼っていくのが仕事です。

木の上に漆を塗り、その上に金箔を貼っていきますが、その時、金箔は、あまり薄すぎて、手では持てません。金箔は、そよ風にも飛んで行ってしまうので、和紙の間にはさんで箱の中に入っています。



それを取り出すのは、**竹製の箸**です。あまりに薄いので、静電気でも周りがあると、くっついてしまうので、ステンレスや金物や、プラスチックでは扱えません。静電気を帯びない竹だけが、はさんで持つことができます。

金箔の仕事で、一番最初に気をつけることは、そのうすい金箔にしわがよらないように、息を止めることです。息を止めて扱うことが常識です。

修復工事の時に、**一番大変だった場所は、三階の天井でした。究極の頂**と呼ばれる場所で、貼る時に、一人で休憩なし、トイレもいけず、13時間以下で、顔を上に向けたまま、作業し続ける状態でした。事前の時には頭痛がしたり、肩が痛んだりした職人さんが、死に物狂いで、やり遂げたと話されています。

③ 金閣寺は、誰が守っている？

右の写真が、金閣寺の修理で金箔を貼った柳生健智さんです。
柳生さんへのインタビューを読みましょう。



インタビュー（要約）・・・中学3年生の質問から

柳生さん：ご紹介いただきました柳生でございます。

みなさんこんばんは

プロジェクトX見られて、その時出させていただいたんですけども、

そのプロジェクトXというのは、NHKの制作された方のご依頼がものすごく熱心だったさかいに、私も出る気になって、協力させていただきました。

春日大社の金の樋とか擬宝珠、屋根の瓦、そういうのも私は金箔を押しました。

そしてその横に、その近くに興福寺というお寺があるでしょう。

その中に大きなご本尊、釈迦如来像っていう仏像がまつられております。

その仏像にも金箔を押させていただきました。

質問： 次世代の金箔職人が、金箔を貼る時にどんなアドバイスをしたいことありますか。

柳生さん：そうですね。やる気と、えーと今、足利義満に仕えるいう気持ちでがんばってます。

そういう方が、あとの時代でも必ず出てくると思います。

質問： 僕たちは、あす金閣寺を見に行くのですが、柳生さんが、金閣寺で見てほしいというところはどこですか。

柳生さん：金閣寺は、金閣寺よりかも庭が位が上、それで庭に合っている金閣寺 そういう形でみなさんが一人ひとり審査員のような感じで、金閣を見ていただければ、きれいとか、まずいとか、みなさんが思った通りをおうちに帰って言っていただければいいと思います。

僕は、中学を出て、親とあまりうまくいかなかったんで、それで、親から離れたいいうことで、京都にきました。父親に職業安定所でこの仕事を探してもらい、そこで、仕事で、住み込みという形で入りました。それが、15歳でした。

その時に、住み込みというのは、そこのおうちで食事もし、掃除もし、いろんなことをしてきて何が大事かという、信用されるということが試されますね。

朝起きて、掃除をする時に、お金が落ちていて、それを、自分のポケットに入れてしまうか、それともちゃんと届けるか、そういうことから始まりましたね。

質問： どのくらい金閣寺を愛していますか。

柳生さん：、やはり相手は声が出なくても、やっぱり語りかけるいう形でいてるさかいに、私から金閣が無い言うか、無かったら、あの世に行くでしょうね。相手をどう生かしてやるか…いう気持ちです。そういう気持ちで、…愛してます。

金閣寺は、あそこは、下が砂利道いうかね、金閣寺よりか庭が位が上のために、ほこりを立たないようにするわけにはいかないんです。その砂利道ほこりが舞い上がるんですね。

私がやったその昭和62年の1年後に行った時に、積もったほこりの上に、ぺんぺん草が生えたんです。そのほこりに、生えたんで、もうだめだということで、私は毎日行って365日、許可を得て金閣に行ってる形なんです。元日の日に、午前中は晴れだったけど、屋また雪になった時、その雪を払いのけてやらなければ、金閣がもたなくなるから、金箔からみんな雪を取り除くのに、・・・やっています。それと、台風の時には、雨をふくために、夜であろうが、行きます。今朝も3時に起きてます。

3時に起きてみなさんが、9時から門が開くので、それまでにちゃんと仕上げ、みなさんに、見ていただいている形なんです。

みなさんにお金を払ってもらってるお寺なので、その辺で、しっかりと見て、自分で良かった悪かったを、判断してもらっていいんだと思います。

インタビュー・細かくそのままで・・・（録音）

野澤君：みんな疲れていると思いますが、貴重なお話なので、しっかり聞きましょう。
これから柳生さんによる講演会を始めます。
初めに紹介の言葉。8組星野君お願いします。

星野君：柳生さんについて紹介します。柳生さんについては、みなさんプロジェクトXで、見たと思いますが、金閣寺の究極の頂とも言われる三階の天井に13時間一度も休みを取らずに三千枚もの金箔を貼られ、今でも金閣寺の点検をされています。しっかりみなさん聞きましょう。よろしくお願いします。

柳生さん：ご紹介いただきました柳生でございます。

みなさんこんばんは

今日はようこそ。京都の方にお越しいただきありがとうございます。

先ほどご紹介いただきました柳生と申します。

プロジェクトX見られて、その時出させていただいたんですけども、

そのプロジェクトXというのは、NHKの制作された方のご依頼がものすごく熱心だったさかいに、私も出る気になって、協力させていただきました。

あとそれに対してみなさんのどういうかなご質問なんかあれば、

お答えしていきたいと思います。

そして、今日、奈良に行かれたそうですが、奈良の、私あの、去年、おとしぐらいやったかな、春日大社ご存知ですか、春日大社の金の樋とか擬宝珠、屋根の瓦、そういうのも私は金箔を押ししました。そしてその横に、その近くに興福寺というお寺があるでしょう。

今、大きな本堂を建てておられます。秋に、法要を行われることになっておりますので、その中に大きなご本尊、釈迦如来像っていう仏像がまつられております。

その仏像の大きさは、平等院と同じくらいの仏像さんです。その仏像にも金箔を押しさせていただきました。奈良に行かれた方は見ていらっしやい。そういうことです。

星野君：じゃあ、質問に行きます。

今回の講演は質疑応答形式で進められます。

ひとつめの質問をお願いします。

桐沢君：お願いします。近年では、難しくて繊細な技術を要する伝統的な仕事をする人が減少していて、伝統文化がだんだん失われてきていますが、柳生さんの仕事を受け継ぐ方はどのくらいいらっしやいますか。

柳生さん：そうですね。私とこの従業員でも、息子を入れて、今は二人、全部で私とこは4人でやっております。

とにかく、魅力あることを残してやれば、つくって言うか、私もこの仕事を好きでやってるのではないために、入ってくる人に大丈夫かいつたずねて、やる気がある人だけをさしてるというわけで結構やる気がある子もいますので・・・大丈夫だと思います。

桐沢君：ありがとうございました。8組の桐沢弘樹です。

星野君：次に二つ目の質問をお願いします。

宮崎君：3年1組の宮崎です。

次世代の金箔職人が、また金閣寺に金箔を貼る時に、どんなアドバイスをしたいことありますか。

柳生さん：そうですね。やる気と、えーと今、足利義満に仕えるという気持ちでがんばってます。

そういう方が必ず出てくると思います。

飯嶋補足：意味わかりました？ 足利義満將軍に使える職人さんのつもりで、お仕事をしている…と。考えることが全然違うんですね。

星野君：次に三つ目の質問です。

小宮君：3年1組の小宮です。お願いします。

僕たちは、あす金閣寺を見に行くのですが、柳生さんが、金閣寺で見てほしいというところはどこですか。

柳生さん：えーと私、金閣寺っていうのは、金閣寺よりかも庭が位が上いうかね、庭が一番上、それで庭にあっている金閣寺そういう形で今やっておりましたので、みなさんが一人ひとり審査員のような感じで、金閣を見ていただければ、その上で、きれいとか、まずいとか、そういう思われたことを、どういふか、関東に帰られた時に、おとうさんおかあさんおじいちゃんおばあちゃんに、こんな金閣やったと、みなさんが思った通りを言っていたいただければいいと思います。
ちよつと思つたままを言わしてもらつてるので、みなさんもつと違うゆうんですか、わからないと言つただけければ…職人はあまりしゃべることが得意ではないだけに、その作品に気持ちを表して形を出しているの、その辺をご了解いただきたいと思つています。

野澤君：続いて四つ目の質問をお願いします。

星野君：3年8組の星野です。よろしくお願いします。

僕たちは、明日金箔を貼らしていただく実習をするんですけど、柳生さんは一人で3000枚を13時間で貼られたんで金箔を貼るコツを知つていると思つているんですけど、そのコツを教えていただけたらなあと思つて…。

柳生さん：金閣の3000枚は貼つたのはプロジェクトXでは、自分から進んでやつたと言われましたけど、そうではなかつたんです。裏話をすると…。やつたのは事実です。私一人でやりました。というのは塗師屋(漆を塗る人)さんが一生懸命やつて最初の仕上がりの時がものすごかつたので、それで平井さんから頼まれてやりました。
で、余裕とかそういうものなかつたですね。
ただ必死でやる。みなさん喜んでもらえる形になっているかどうか、それも心配だつたけど、とにかく何でも夢中でやるいう気持ちでやれば、何でもできると思つています。

星野君：ありがとうございます。

星野君：次に五つ目の質問です。

埜田君：三年四組の埜田です。一人で13時間金箔を貼つたとお聞きしましたが、そのような集中力はどのようにして続けられればいいのか。僕は勉強していると、よく集中力が切れてしまひ、すぐ飽きてしまうからそこを教えてほしいです。

柳生さん：その集中力無くなるゆう時は、私、その人余裕があると思つています。そこまで考えると、その気になれば、それなりに行くと思つています。みなさんこうして勉強されている時は、それはわかります。今日という日は一日しかないさかひに。それを考えて、金箔貼つている時は、そういう余裕は無かつたですね。テレビの上では13時間という形を取られましたけど、あれは、13時間やつていれば失敗するんです。もつと早かつたです。ご飯を食べなかつたというのは事実です。ご飯を食べてる暇は無ひんです。ああいうの頼まれたら、もう一度してくれ言われても、もうチャンスは無ひので、死に物狂いでやつて私はどういふ気持ちでやつたか、わからないのが本音です。ただ必死でやつたいう…。

星野君：これで予定されていた質問は終わります。他に質問がある人は、挙手をお願いします。

近藤君：3年6組の近藤です。金箔職人をやって、よかったなと思う点は何ですか。

柳生さん：そうですね。みなさんに喜んでもらえる状態に貼ってあるということは幸せです。やった時はもう、嫌で、…嫌言うんか、私は中学出てからに入りました。(職人の仕事に)この仕事は、あまり好きではなかった。でも、この仕事でなければ、やらなければ生きていけない(生活できない)恥だから、必死で生きていけることを考えてやりました。

近藤君：ありがとうございました。

星野君：他に質問がある人はいますか。

では、次に、柳生さんが持ってきていただいたものを見せていただけるお話に入りたいんですけど、…。

柳生さん：そうですね。今は、みなさんとにかく学校で勉強するのは当たり前と思っている。それをぜひ、挑戦してほしいわけですけど、毎日毎日が本当に大事やと思います。
ところが、今勉強していることは、世の中に出た時に初めて役に立つ、僕は、中学を出て、親とあまりうまくいかなかったの、それで、親から離れたいということで、京都に来ました。父親に職業安定所でこの仕事を探してもらい、そこで、仕事で、住み込みという形で、昔の見習職人という形で入りました。
その時、入った時にはもう、ただ親から離れるというのが楽しみだったけれど、そこで初めて、親のありがたみを感じる、…そういうようなことですね。それが、15歳でした。

その時に、住み込みというのは、そこのおうちで食事もし、掃除もし、いろんなことをしてきて何が大事かということ、信用されるということが試されますね。

信じてる…ということ、朝起きた時は、掃除をする時に、お金を落とされて、それを、自分のポケットに入れてしまうか、それともちゃんと届けるか、そういう気持ちを持っているか、そういうことから始まりましたね。

とにかく、いろんなところで、自分を試される形があったけど、それは、相手方も、初めての人間を預かる時に、どんな人間かと思って、そういうことをされたのも、済んでしまえばわかりますね。その時は、本当に夢中で過ごしてきました。

飯嶋：あと、お道具を持ってきていただいているので、そのご紹介を…、していただければ…と。

柳生さん：はい、金箔の実物を見られた方はおられるんですか。

飯嶋：金箔の端っただけ、見せました。

柳生さん：質問で、金箔を、もっと大きい金箔で貼ったらどうやという質問がありました。そのかたに、お答えしようと思って、金箔そのものは持ってきませんでしたが、貼った物を持ってきました。
いろんなサイズをお見せしたいと思って…。



…実物を提示、普通、一般に売られている金箔の大きさが、2枚貼ってあって、もっと大きいのが、このサイズになります。明日体験コーナーをされるそうですが、…
この大きい金箔4枚を貼ってありますけど、自分が思ったつやの出し方わかりますか？
同じ材料でも、つやによって、変わるということを見ていただきたいと思って、…
一番大きいサイズを見せます。

飯嶋：今のわかったかな？ 同じ4枚でも、光り方を変えてある…。4枚の輝きが違った…。
見たい人は、こちらにあとで集まって…。

柳生さん：金箔で、一番大きいのはこれです。(顔が入るくらい、30cm角くらい？)

一番小さいのが4枚入るくらいの大きさですね。

これを金閣寺に貼ろうと思ったら、また、箔を作るのが難しいので、それと、お値段の点とか、いろいろあって、これは、無理だと思います。

それで、この金箔の生かし方にも、思い思いのつやの出し方があるんですね。

それをお見せします。

これだとわかりますけど、……(半分はピカピカ、半分は鈍く光る)……

これは、一枚の箔です。箔によって、押し方言うかな？つやの出し方、それが我々の職人の技なんです。

で、明日金閣寺に行ったら、どのつやの出し方で貼ってあるか、そういうのも見ていただくと面白いと思います。

一枚の金箔でも、つやが違うんです。

金箔のサイズがわかりましたよね、それで、金箔を扱う時の、手ではつかめないので、その竹で作られた箸っていうものがあるんです。それをお見せします。

これが金箔を押すときの、箸ですが、これは、自分で作った特注の箸なので、売ってません。

先ほど見せた、218 mm四方の金箔を押そうと思ったら、このくらいの箔箸しか使わないと、扱いつらいと思います。それで、つくりました。

明日、みなさんが使われるなら、このサイズではなく、普通の大きさのをお見せします。

これで、一番小さい箔を押します。

もっとその道に入れば、もっとこまかいのを押す場合にはどういう箸になるかというのを、ちよつとお見せします。

こういうふうに、わかりますか。これが、私が弟子に入った時の箸、60年前の箸です。金箔の箸ですね。これが使いやすくて、少しずつ削っていったために、小さくなってしまってこんなふうになりました。

これ、漆を使っているために、こういう色になっていくんですね(少しつやのある黒っぽい茶色)

私たちは、接着剤を漆でやっているために、こういう漆を塗る刷毛ですね、こういうので塗って、あとは、先ほど、つやのだし具合は、漆の層の厚さによって変わってくるので、ちよつとわかりにくいかもしれませんが……そういう状態なんですね。



飯嶋：じゃあ、私の方から、おもしろい質問があつたので、それを二つうかがいたいと思います。

こういう言い方するのはちよつと……でも、中学生らしい表現だと思ったので、

誰かさんの質問で「金閣寺をどのくらい愛していますか？」と書いた女の子がいたので、そういう質問には、柳生さんは、どんなふうにお答えになりますでしょうかと思ひまして、……。

柳生さん：そうですね、まあ、みなさん行って、やはり相手は声が出なくても、やっぱり語りかけるいう形でいてるさかいに、私から金閣が無い言うか、無かったら、あの世に行くでしょうね。(にっこり笑いながら) 愛する言うかね、向こうはどう思ってるか知らんけど、人でも一緒だと思っけど、相手をどう生かしてやるか……いう気持ちですね。
そういう気持ちで、……愛しています。

飯嶋：あと、今のお話でも出てたんですけども、実は、みんなは知らないんだけど、最初に五中の生徒が、こういうお話を聞く会をやつたのね。

その五中の先生から、毎朝、柳生さんは、点検をしてらっしゃるようですよ、つていうのをうかがつたので、「金閣寺に毎朝いらして、点検のようなことをされているというのは、具体的に、どういふことを見られるんでしょうか」つていう質問がありましたよね。

4~5人はいたと思うんですけども。誰だっけかな？

じゃあ、それについてお願いします。

柳生さん：車のことを思い出してみると、きれいに掃除して、一年、外に置いておくと、どういう形になるか言う状態ですね？
というのは、金閣寺は、あそこは、下が砂利道いうかね、早雲寺？みたいに金閣寺よりか庭が位が上のために、変えるわけにはいかないんです。ほこりを立たないようにするわけにはいかないんです。
その砂利道の砂利から結局ほこりが舞い上がるんですね。朝行って、指で触れば、やはり、指に、ほこりがつきます。そのほこりを長く置いておくと、私がおのやったその昭和62年にやって1年後に行った時に、へりにぺんぺん草が生えたんです。そのほこりに、生えたんで、もうだめだということで、私は、毎日行って365日、許可を得て金閣に行ってる形なんです。
心理的には、元日の日に、午前中は晴れだったけど昼、また雪になった時、その雪を払いのけてやらなければ、金閣が持たなくなるから、金閣から、金箔からみんな雪を取り除くのに、・・・やっています。
それと、台風の時には、雨をふくために、夜であろうが、行きます。今朝も3時に起きてます。3時に起きてみなさんが、9時から門が開くので、それまでにちゃんと仕上げ、みなさんに、見ていただいている形なんです。
というのは、普通のお寺はお金払わないけど、あそこのお寺はみなさんにお金を払ってもらってるお寺なので、そういうふうにも考えて、みなさんもお父さんお母さんから、お金もろて入ってもらうために、その辺で、しっかりと見て、自分で良かった悪かったを、判断して、先ほど言ったように、お父さんお母さんに、こうやったああやった、いう話をするだけでも、いいんだと思います。

星野君：ありがとうございます。

柳生さん：どなたかの質問に、金閣寺などの仏壇仏具以外に、どんなものに、金箔を押されているかという質問があったので、その方のためにちょっと持ってきた物があるので、お見せします。
……………金箔を押した急須を取り出して見せてくださる……
これです。私がこれ貼った、自分で使おうと思っている、急須です。
金そのものを見せたいのが、考えたんです。金閣寺の金箔にこだわらずに、金そのものの感じを出そうとして、これなんですけどね。
明日、金閣見た時それぞれに、お考えで……
やった方の気持ちはそういう気持ちでやりました。
もし作品を見ようと思われる方は見てください。

星野君：終わりの言葉、野澤君お願いします。

野澤君：今日は、お忙しい中、私たちのために、講演をいただき、ありがとうございました。
私は、柳生さんの話の中で、特に、金閣寺だけでなく、興福寺の仏像や春日大社の金なども、柳生さんが行っているということ、また、テレビでは13時間で終わらせたとおっしゃっていましたが、ホントは13時間より早く終わらせたこと、そして、毎朝3時に起きて、金閣寺を点検していることに、とても驚きました。
また、私たちは、明日金閣寺を見に行くのですが、庭と金閣寺を合わせて、見るということ意識して見てこようと思いました。私は、本日の柳生さんのお話を、これから、勉強や学校生活に生かしていきたいと思っております。重ねまして、本日はご講演をいただき、ほんとうに、ありがとうございました。

参考映像：「プロジェクトX：金閣再建」「美の壺：金箔」

子どもたちの質問：アンケートから

金閣寺の金箔を貼ったお仕事について

- * 命がけで貼り続けたのは、どんな思いや気持ちがあったからですか
- * 作業をしている間、何を考えましたか
- * 集中力をどうやって維持したのですか
- * 貼り終わった後、どんな気持ちでしたか
- * 金箔を貼るのに一番大変だったこと、一番気を配った点は何か
- * 金箔を貼る時に、手に汗もかくと思いますが、その時はどうしましたか
- * 貼り終えた後に、さすがに倒れた・ということはありませんでしたか
- * 自信の体に害が出なかったのかどうか、体調不良にはなりませんでしたが（腰や首の痛み肩こりなど）
- * 食事・トイレはどうしたのですか。つらかったですか
- * 最後の一枚を貼る時の気持ちはどんな気持ちでしたか
- * 終わった後はどんな気持ちにたとえられますか
- * どうして、大きな金箔（もっと大きな金箔は無いのか）ではなく、小さな金箔を使うのですか
- * なぜ、ご自分が引き受けようと覚悟されたのですか
- * 当時のことで、一番思い出に残っていることは何ですか

金閣寺と柳生さん

- * 金閣寺をどのくらい愛していますか
- * 金閣寺を見学する際、どのような観点で見ると金閣の一番の良さが味わえますか
- * 今現在、金閣を見ていてどんな思いを持っていらっしゃるでしょうか
- * 柳生さんにとって、金閣寺はどんな存在ですか
- * 金閣でよく見てほしいところはどこですか
- * 金閣の中で、一番お気に入りの場所はどこですか
- * 金閣のどんなところが好きですか
- * 金箔職人の柳生さんだからわかる金閣のすばらしさは何ですか

金閣寺について

- * 貼った金箔は、どのくらいの量で、いくらぐらいになりますか
- * この時の金はどこの産地の金ですか
- * 番組が終わった後の反響はどうでしたか

金閣寺の未来について

- * この30年以上金閣を見てきて、何事も変わることが無いということはないと思いますが、最近、そして、だんだんと変わってきたことは何ですか。
- * 毎日、点検する時にどんなところを見ていらっしゃるのですか
- * 金箔は、はがれたりしていることはありますか 雨や風で、はがれないんですか
- * もしはがれていた時があったら、その場ですぐ直すのですか
- * 金箔は、どれくらいの強度なんですか
- * 金箔を貼るのはロボットでできることですか（未来）
- * あとどれくらい復元しなくて済みそうですか
- * 何歳まで見守りたい、点検作業をしたいと思っていらっしゃるのですか。
- * 仕事を受け継ぐ人は、決まっているのですか
- * 金閣のどんなところを未来まで長く引き継いでほしいと思っていらっしゃいますか

- * もし、次の世代の人が、柳生さんのように金閣の天井の金箔を一人で貼るとなったら、どのようなことを大切にしてほしいと考えていますか

金箔を貼る仕事について

- * 金箔って、さわった感じは、どんなふうですか
- * 金箔を貼る時に、一番難しいところやこうした方がいいというコツを教えてください(次の日に、箔押しをホテルで体験するので)
- * 金箔は、どこで作られているのですか
- * 金箔職人に必要な心構えはありますか
- * 金箔を貼る時に必要な道具はどのような物ですか
- * 金箔職人の仕事は、今でもどんな仕事があるのですか
- * どのくらい修行するのですか
- * 金箔職人は、いま日本にどれくらいいますか

柳生さん自身のこと

- * 金箔職人になったきっかけは何ですか
- * 金箔職人として何年、何歳から仕事をされているのですか
- * 集中力はどうやれば、続くのでしょうか。好きなことだからですか
- * 普段のお仕事は、何をしていますか
- * 他のお仕事でどんなことをされていますか、他の寺院なども貼られたことは？
- * 仕事をやっていて、楽しいと思ったことは何ですか
- * 挫折はありましたか